



文化芸術活動に対する助成事業に関するアンケート

独立行政法人日本芸術文化振興会（以降「振興会」という。）では、文化芸術活動に対する助成システムを充実するため、様々な取組を進めています。

振興会における取組を検証し、文化芸術活動に対する助成をより有効かつ適正に行うため、応募していただいた団体の皆様を対象に、アンケート調査を実施しております。

本アンケートへの協力は、要望の採否には関係ありませんが、今後の助成事業の改善・充実のためご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

選択式の回答は、該当箇所のマークをぬりつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし /: 不十分なぬりつぶし

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) 今回の助成金交付要望書の対象事業は何ですか？（回答は一つ）

- ① 舞台芸術創造活動活性化事業（音楽）
- ② 舞台芸術創造活動活性化事業（舞踊）
- ③ 舞台芸術創造活動活性化事業（演劇）
- ④ 舞台芸術創造活動活性化事業（伝統芸能）
- ⑤ 舞台芸術創造活動活性化事業（大衆芸能）
- ⑥ 映画製作への支援
- ⑦ 芸術文化振興基金 現代舞台芸術創造普及活動（音楽）
- ⑧ 芸術文化振興基金 現代舞台芸術創造普及活動（舞踊）
- ⑨ 芸術文化振興基金 現代舞台芸術創造普及活動（演劇）
- ⑩ 芸術文化振興基金 伝統芸能の公開活動
- ⑪ 芸術文化振興基金 美術の創造普及活動
- ⑫ 芸術文化振興基金 多分野共同等芸術創造活動
- ⑬ 芸術文化振興基金 国内映画祭等の活動
- ⑭ 芸術文化振興基金 地域文化施設公演・展示活動（文化会館公演）
- ⑮ 芸術文化振興基金 地域文化施設公演・展示活動（美術館等展示）
- ⑯ 芸術文化振興基金 アマチュア等の文化団体活動
- ⑰ 芸術文化振興基金 歴史的集落・町並み、文化的景観保存活用活動 民俗文化財の保存活用活動 伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承等活動

(2) 文化芸術への公的支援に関する考え方を「社会的費用」から「社会的必要性に基づく戦略的な投資」と捉え直したこと（「第3次基本方針」p.3、「第4次基本方針」p.10）についてどう思いますか？（回答は一つ）

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/hoshin/index.html

- ① それを意識して助成金交付要望書を作成している
- ② 助成金交付要望書の作成に当たってはあまり意識していない
- ③ 自分達の団体には関係がない
- ④ 基本方針やそこで示された公的支援に関する考え方を知らない

⇒次ページに続く



<審査基準について>

- (3) 助成対象活動の採択に関する審査基準が、助成金募集案内や振興会のウェブサイトで事前公表されていることをご存じですか？（回答は一つ）
- ① 知っている
- ② 知らない（→問(6)へ）
- (4) (3)で「①知っている」と回答された方に伺います。審査基準の事前公表について、評価しますか？（回答は一つ）
- ① 評価する（良いことだと思う）
- ② 評価しない（あまり意味がないと思う）
- ③ 分からない
- (5) (3)で「①知っている」と回答された方に伺います。審査基準を意識して助成金交付要望書を作成していますか？（回答は一つ）
- ① 意識して作成している
- ② あまり意識していない
- ③ どう反映させれば良いのか分からない

<審査結果について>

- (6) 審査の結果、不採択となった場合に、その理由を当該団体に文書で通知することが必要であると思いますか？（回答は一つ）
- ① 全ての団体に対して行うことが必要である
- ② 希望する団体に対して行うことが必要である
- ③ 必要ない
- ④ 分からない

<プログラムディレクター・プログラムオフィサーについて>

- (7) 音楽・舞踊、演劇及び伝統芸能・大衆芸能の4分野（以下「舞台芸術分野」という。）に、プログラムディレクター(PD)及びプログラムオフィサー(PO)が配置されていることをご存じですか？（回答は一つ）
- ① 知っている
- ② 知らない（→問(11)へ）
- (8) (7)で「①知っている」と回答した方に伺います。PD・POから助言を受けるため、貴団体から積極的に問合せを行ったことがありますか？（回答は一つ）
- ① ある
- ② 連絡方法を知っているが、問合せをしたことはない
- ③ 連絡方法を知らない
- (9) (7)で「①知っている」と回答した方に伺います。PD・POを配置していることについて、評価しますか？（回答は一つ）
- ① 評価する（良いことだと思う、他の分野にも広げた方が良いと思う）
- ② 評価しない（あまり意味がないと思う）
- ③ 分からない

⇒次ページに続く



(10) 舞台芸術分野以外についても、PD・POを配置することが今後必要であると思いますか？（回答は一つ）

- ① 必要である
- ② 必要ない
- ③ 分からない

<事後評価について>

(11) 文化庁からの補助金を財源として実施している「舞台芸術創造活動活性化事業」（旧「トップレベルの舞台芸術創造事業」。以下略。）の助成対象活動に対して、事後評価が行われていることをご存じですか？（回答は一つ）

- ① 知っている
- ② 知らない（→問(14)へ）

(12) (11)で「①知っている」と回答された方に伺います。事後評価を実施していることについて、評価しますか？（回答は一つ）

- ① 評価する（良いことだと思う、他の分野にも広げた方が良くと思う）
- ② 評価しない（あまり意味がないと思う）
- ③ 分からない

(13) 「舞台芸術創造活動活性化事業」以外の助成対象活動（注）についても、事後評価を導入することが今後必要であると思いますか？（回答は一つ）

（注）具体的には、芸術文化振興基金による助成対象活動及び「映画製作への支援」の助成対象活動を指します。

- ① 必要である
- ② 必要ない
- ③ 分からない

<文化芸術に関する情報収集・提供について>

(14) 助成制度や文化芸術団体の活動に関する様々な情報の収集・提供をするような取組について、今後も必要であると思いますか？（回答は一つ）

- ① 必要である
- ② 必要ない（→問(16)へ）
- ③ 分からない（→問(16)へ）

(15) (14)で「①必要である」と回答された方に伺います。具体的にどのような情報を提供すれば、文化芸術団体にとって有益だと思いますか？（例：文化芸術団体の活動実績、受賞歴、財務状況等の情報、鑑賞者の動向等。）（自由記述）

<電子申請について>

(16) 助成金交付要望書の提出にあたり、インターネット上のシステムに必要事項を入力して応募する方式（電子申請）を採用することについて、どうお考えですか？（回答は一つ）

（※検討の参考にするためにお伺いするものであり、現時点でこの方法を実施することが決まっているわけではありません。）

- ① 賛成である
- ② 反対である
- ③ 分からない

⇒次ページに続く

